

北海道自治体学会運営委員会

会の運営方針などは毎年の総会で決定され、日常的な運営は2年ごとに総会で選出される運営委員が行っています。

【2019～2020年度の運営体制】五十音順

■代表運営委員

永井 真也(室蘭工業大学)
大坂 敏文(江差町職員)
辻 ひろし(登別市議会議員)

■運営委員

[事務局長]安田 あきの(北海道職員)
石井 和平/石垣 周一/大貝 健二
大山 幸成/小山田 健/木村 春樹
加藤 知愛/小泉 義隆/鹿谷 雄一
菅原 文子/高田 誠/竹中 進一
玉田 悟/西 大志/西村 宣彦
古内 伸一/古田 敏幸/堀 直人
松井 健/宮下 照太郎/武藤 俊雄
望月 貴文/吉田 博

■監事

今川かおる/椿谷 敏雄

■歴代代表運営委員

森 啓/川村 喜芳/中島 興世
小林 勝彦/嶋田 浩彦/神原 勝
中島 和子/桑原 隆太郎/片山 健也
佐藤 克廣/渡辺 克生/今川かおる
松山 哲男/西科 純/石井 吉春
西村 宣彦/宮下 裕美子

北海道自治体学会は あなたの参加を待っています

入会すると・・・

- 会の活動や会員紹介、特集記事などを掲載したニュースレターをお届けします。
(年3回程度発行し、HPの会員専用ページに掲載します。)
また、会員はニュースレターに投稿することができます。
- 毎年開催の「政策シンポジウム」と「地域フォーラム」のほか、各種研究会活動など、身近な交流と研究の機会があります。
- 会員限定の Facebook グループに参加し、様々な情報交換ができます。
- 会員が中心となって行う学習会や研究会などに対し、支援や助成が受けられます。

入会するには・・・

- 会員には個人会員と団体会員があります。
個人会員 年会費 3,000円
団体会費 年会費 1010,000円
- 北海道自治体学会のホームページ(HP)から、お申し込みください。<http://jitai.net.hokkaido/>
(ご連絡いただければ、事務局から入会申込書の郵送もいたします。)

会費振込口座

- 北洋銀行
道庁支店(店番号475) 普通預金3536123
北海道自治体学会(ホッカイドウジチタイガックイ)
- ゆうちょ銀行
店名九〇八(店番908) 普通預金5000055
北海道自治体学会(ホッカイドウジチタイガックイ)

入会のご案内

北海道自治体学会

—今、私ができること—



北海道自治体学会は、
フォーラムやシンポジウム、ニュースレター、
インターネット等によって
自治に関する実務と理論の出会いをめざす場。
自治体学会でネットワーキングを

HP: <http://jitai.net.hokkaido/>
(事務局)

〒068-8555 江別市文京台 11 番地
札幌学院大学法学部 石井和平研究室内
Eメール jjichi.hokkaido@gmail.com

北海道自治体学会とは

北海道自治体学会は 1995 年に設立されました。

憲法には地方自治の本旨が定められましたが、永らく自治体は中央省庁の末端で事務を執行する地方行政機関でした。

しかし、時代は大きく転回しました。

自治体の政策自立は必然的な時代の流れです。自治体学とは、「現代社会の課題を解明するために理論枠を組み替え、基礎概念を再構築した自治体関連の諸学の総称」と定義できます。

研究者は現場の実務から理論化のヒントをつかみ、職員、市民、議員は理論と基礎概念に導かれてまちづくりを実践します。

北海道自治体学会の会員は自治体職員、研究者、ジャーナリスト、企業の職員、議員や首長、市民、自治体職員を目指す学生など多彩です。

様々な分野、立場の異なる人々が相互の考え方に触れ、情報や経験を交流することによって、自身の問題意識が触発されて政策構想能力を高めることができます。

北海道自治体学会のこれまでの活動

- 1995 年7月、ニセコで開催された北海道フォーラムの場で設立総会を開き、発足しました。
- 毎年、札幌で「政策シンポジウム」を、各地で「地域フォーラム」をそれぞれ開催しています。

【政策シンポジウム】※開催地はすべて札幌

第 1 回	1995.11.3	情報公開と住民参加
第 2 回	1996.11.30	地方分権と自治体の自己改革
第 3 回	1997.11.2	地域政策づくりをどう進めるか
第 4 回	1998.11.14~15	自治体の新段階と新展望
第 5 回	1999.6.26	地域を変える私の挑戦
第 6 回	2000.7.2	これからの市民と自治体
第 7 回	2001.6.17	続・これからの市民と自治体
第 8 回	2002.6.30	誰が公共を担うのか？
第 9 回	2003.6.1	北海道自治のかたち
第 10 回	2004.6.6	自立への挑戦
第 11 回	2005.6.12	原点から見通す地域の将来
第 12 回	2006.5.28	いま再び、市町村自治をとらえ直そう
第 13 回	2007.6.2	わがまちの財政は？夕張問題に学ぶ
第 14 回	2008.5.31	自治体財政への住民参加
第 15 回	2009.5.23	北海道の自主独立-自治・分権とはなにか
第 16 回	2010.5.22	政権交代と自治・分権～北海道から考える
第 17 回	2011.5.28	人口減少時代の地域経営
第 18 回	2012.5.26	地域活性化のための現場力
第 19 回	2013.6.1	実践的住民自治
第 20 回	2014.5.10	地域にイノベーションを起こす
第 21 回	2015.5.16	人口減少社会を見据えた地域づくりとは
第 22 回	2016.5.14	観光と地域振興-北海道にしかできない新たな観光とは
第 23 回	2017.5.27	持続可能な地域社会の創造とは
第 24 回	2018.5.19	地域と街なみの再生～エリアリノベーション・北海道での可能性
第 25 回	2019.5.25	災害対応と自治～北海道胆振東部地震の経験に学ぶ～

【地域フォーラム】※()は開催地

第 1 回	1995.7.8~9	(ニセコ町)
第 2 回	1996.6.29~30	(白老町)
第 3 回	1997.6.28~29	(江差町)
第 4 回	1998.9.26~27	(弟子屈町)
第 5 回	1999.10.16~17	(北見市)
第 6 回	2000.10.14~15	(芽室町)
自治体学会全国大会 2001.8.23~24 (函館市)		
第 7 回	2002.8.31~9.1	(風連町)
第 8 回	2003.12.7	(北広島市)
第 9 回	2004.11.6~7	(女満別町)
第 10 回	2005.10.1	(札幌市)
第 11 回	2006.10.28	(室蘭市)
第 12 回	2007.10.13	(旭川市)
第 13 回	2008.9.6	(恵庭市)
第 14 回	2009.10.3~4	(夕張市)
第 15 回	2010.10.16	(七飯町)
第 16 回	2011.10.29	(士別市)
第 17 回	2012.10.13~14	(芽室町)
第 18 回	2013.10.26	(登別市)
第 19 回	2014.10.18	(旭川市)
第 20 回	2015.9.26	(岩見沢市)
第 21 回	2016.10.29	(江別市)
第 22 回	2017.11.11	(下川町)
第 23 回	2018.9.23	(札幌市)
第 24 回	2019.11.23	(木古内町)